

# 魔法の Wallet プロジェクト 活動報告書

報告者氏名： 鴨川祐子

所属： 長崎市立諏訪小学校

記録日：令和2年2月8日

キーワード：代替手段・言語力・コミュニケーション・感覚と動作・興味や関心

## 【対象児の情報】

○学 年 小学3年生の男児

○障害名 知的障がいを伴う自閉症スペクトラム症、ADHD

○障害と困難の内容

- ・言葉の意味理解に困難さがある。
- ・自分の思いや考えを相手にわかりやすく伝えることができない。
- ・自分の考えや行動が思うようにならない時は、不安が高まり混乱したような様子を見ることが多い。
- ・体の動きがぎこちなく、姿勢の保持、身体のバランス力、手指の巧緻性、身体の使い方に課題が多い。感覚刺激に対する反応性の問題も多い。

## 【活動目的】

○当初のねらい

- ①代替手段を使い、学習しやすい方法を身につける。
- ②学習やコミュニケーションのベースとなる言語力を高める。
- ③コミュニケーションの機会を広げる。
- ④安心して学ぶための心と体を育て、対人関係を伸ばしていく。

○実施期間

2019年4月から現在

○実施者

鴨川祐子

○実施者と対象児の関係

特別支援学級 担任

## 【活動内容と対象児の変化】

○対象児の事前の状況

・WISCIVの結果で、個人内では、知覚推理が最も高く、図形や絵などの視覚情報を理解したり、意味付けしたりすることが得意であった。また、処理速度は、最も苦手で、書き写しやスピーディーな作業、注意や集中の持続が難しいという結果であった。

(感覚プロフィール及び感覚+アセスメントシートの結果より)

### 感覚・感覚刺激の反応のスコア

・周囲の刺激に気づきにくい、特定の刺激に関しては、過敏に反応する、身体面・情緒面共に感覚刺激による疲労やストレスを感じやすい。また、苦手な感覚刺激や予定の変更等で混乱が生じやすい。

### 動作のスコア

・手を使った細かい作業（書字・描画・箸等の使用）や体の部位を協調させる動き（両手両足・目の動き・口や舌の動き・姿勢の調整や維持等）がスムーズではない。

(学習)

### 読むことについて

・スムーズに読むことができるが、読み飛ばしや勝手読みもあり、内容は理解できていないことも多い。詩を読

むのは、大好きで、表情豊かに読むことができる。

#### 書くことについて

- ・書くことができる文字も増えてきたが、時々忘れて、一覧表を見ながら書くこともある。また、不器用なため、字形を整えて書くことは難しく、マスや行からはみ出してしまう。iPad で文字の練習を行ってきたので、筆順は正しく書くことができる。
- ・体験活動をしたときは、思ったことや気づきを自分から文章で表現しようとする。
- ・iPad で入力するときは、50音キーボードまたはフリック入力である。50音キーボードでも、濁音・半濁音・拗音がフリック入力できるので、気に入って使っている。

#### その他の学習

- ・新しく始まった毛筆では、道具の準備や片付けなどに苦戦しているが、楽しんでいる。理科や社会は、参加することが難しい。

#### (生活・行動)

- ・お話をすることが大好きで、自分の知っていることや興味のあることに対しては、積極的に言葉で表現することができる。
- ・走るのが大好きである。車に興味があり、毎日学校の中をバスの運転手になりきって移動している。
- ・マイブームがちょっとしたきっかけで、いろいろ変化していく。これまでに、トーマス、カーズ、マリオになり、現在は、動物や生き物に関心が高い。
- ・不注意が多く、集中して活動することができないことも多い。
- ・整理整頓が苦手で、物を失くしたり、どこに置いたかわからなくなったりすることがよくある。
- ・感情のコントロールが上手くできず、不安や心配なことがあると、イライラして落ち着かなくなる。自分の気持ちを言葉で十分に表現できなかつたり、疲れが溜まったりすると、さらに不安定になってしまう。

#### (感覚)

- ・偏食が多く、好き嫌いがはっきりしており、嫌いなものは食べようとしないが、特定の味や食感のものを非常に好む。
- ・食べ物を噛まずに水分で飲み込んでしまうので、噛む回数を伝えると噛もうと努力する。
- ・口に物を入れたり、なめたり、噛んだりすることがよくある。
- ・怪我をしても痛がらなかつたり、気づかなかつたりするので、気付くように声をかけることが多い。

#### (動作・運動)

- ・移動中に、物を落としたり、何も無いところで転んだりすることが多い。
- ・走ることは大好きであるが、ボールを使った運動が苦手である。ボールを使ったしりとりゲームなどの時は、楽しんで動くことができる。

#### **○活動の具体的内容**

- ・昨年度の取組を通して、少しではあるが、自分で言葉を表現できるようになり、やり取りを楽しんだり、多くの人と進んで関わりをもったりしながら、楽しい学校生活を送ることができ始めている。

しかし、まだ相手にわかるように言葉で伝えることが難しい様子や言葉の意味が十分理解できないため、不安が大きくなる様子が見られる。このような学習や生活で困ることも多いので、今年度は、「できるようになりたい」気持ちに寄り添いながら、学習やコミュニケーションのベースとなる言語力を高め、コミュニケーションの機会を広げながら、対人関係を伸ばしていきたいと考えた。

#### **①代替手段を使い、学習しやすい方法を身につける。**

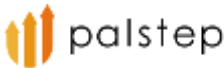
好きなことや興味があることを生かしながら、代替手段を使い支援していく。

目的	アプリ・他	活動内容
1. 調べたいことを選ぶ	絵本・これまでの体験から	本や興味のあることから調べたいことを決めた。
2. 選んだことを調べるために	「SIRI」「Safari」  	自分が興味をもったことで調べたいと思ったことを50音キーボード入力や音声入力で検索した。
3. 調べることをまとめるために	「My 図鑑」 	検索してわかったことを、写真や絵、文字で表現する。写真は、カメラロール等に保存した。
4. 学習を広げるために	「ロイロノート」「Keynote」   「SimpleMind+」「MetaMoji Note」  	「My 図鑑」等でまとめた調べたことなど、伝えるための表現方法を選び、伝えたい気持ちをまとめた。
※その他	「あそんでまなべる日本地図パズル」 「みんなの国旗クイズ」    「記号大好き！地図記号」	学んだことを生かしてもっと楽しく学ぶために、補足的に活用し、意欲的に取り組んだ。

②学習やコミュニケーションのベースとなる言語力を高める。





言葉の理解力や知識を増やし、自分に自信がもてるように支援していく。

目的	アプリ・他	活動内容
1. 漢字の読み書きを支えるために	「新・筆順辞典」「二年生の漢字」  	漢字の読み書きの練習を楽しく行い、自信をつけた。
2. 言葉のまとまりをとらえたり、言葉を理解したりするために	「SimpleMind+」「DropTalk」   「Daisy 教科書」「単語リンク」   「読み放題」「ひらがな たんご」   「hiragana_tango2」「二年生の漢字」  	言葉のまとまりをとらえる力や会話のスキルを練習した。
3. 自分の思いや考えを伝えるために	「えにっき」 	心に残ったことを文章や写真で記録として残していき、毎日の日記や観察記録としても利用し、楽しんで取り組んだ。
4. 学習意欲を高めるために	「NHK For School」 「MetaMoji Note」  	学習に役立つ情報を共有し、事前学習、調べ学習、事後学習に対して、意欲的に取り組んだ。学習したことを記録に残し振り返り、確認した。

5. 学習の定着を図るために	「Palstep」 	授業の復習・補充等を行うことで、学習の理解が進んだ。
----------------	--	----------------------------

③コミュニケーションの機会を広げる。

いろいろな人に、伝えたいことや気持ちを表現できる場面を設定し、やり取りの楽しさを増やしていく。

目的	アプリ・他	活動内容
1. つながるツールとして	「ByTalk for School」 	コミュニケーションツールとして継続して活用し、クラスの友達、交流学級担任と、毎日やり取りを楽しんだ。
2. 伝えるツールとして	「えにっき」「keynote」  	「えにっき」で書いたことを、交流学級や保護者に伝え、もっと伝えたいという気持ちにつながった。自分が調べた学習、できるようになったこと、自分取り扱い説明書第2弾を、「keynote」でまとめることで、伝える場面を自分で決めた。
3. 外国語を楽しむために	「しゃべり描き」 	外国語で話すことができる喜びを体験し、積極的に外国語を調べた。
4. 安心して話すことができるために	「Roulette」「IIIust Chainer」  	選択や決断しやすい取組で、話しやすくなり、笑顔で活動した。絵しりとりで楽しみながら言葉表現し、仲間と一緒に活動した。

④安心して学ぶための心と体を育て、対人関係を伸ばしていく。

動きを意識することや気持ちについて考えることを通して、学びやすさや生活しやすさを支える。

目的	アプリ・他	活動内容
1. 運動・動作を支えるために	「キッズ Sworkit」「はみがき勇者」   「TwinViewer」「グリッド線撮影アプリ Professional」   「LINE Camera」「たまご潰し」   「たまご潰し2」「一筆書き」   「認知機能バランス」 	基礎的な運動能力（体力、敏捷性、柔軟性&バランス）を身につけるため、モデルを見ながら楽しく運動し、自分の体の動きに気づき始めた。 「はみがき勇者」は、歯磨きをする習慣や正しい磨き方を継続してできた。 反射神経・動体視力を高めるために写真や動画を使い、視覚的に自分の体の動きや変化を理解した。
感情の表現や理解を支えるために	「気持ちメーター」「DropTalk」  	「気持ちメーター」を使い、自分の気持ちや気分を把握したり、気持ちの変化を見たりしたことで、自分の気持ちに向き合うことができた。

表情を読み取ること、感情を表す言葉、その伝え方などを「DropTalk」で学び、言葉や状況等を言葉で伝えることができるようになった。

## ○対象児の事後の変化

### ①代替手段を使い、学習しやすい方法を身につける。

好きなことや興味があることを生かしながら、代替手段を使い支援していく。

#### 1. 調べたいことを選ぶ

・インターネットや本を使って情報を集め、興味あることを自分で選択して決めた。

#### 2. 選んだことを調べるために

・自分で選択したテーマ「海の生き物」「動物」について、インターネットを使って調べた。調べ始めると、楽しくて検索が止まらず、あっという間にたくさんの生き物の名前や生態などを覚えてしまった。

#### 3. 調べることをまとめるために 4. 学習を広げるために

・興味は止まることなく、毎日のように「My図鑑」でまとめ始めた。その後、自分が好きな動物等の情報を「SimpleMind+」を使って整理していた。また、「ロイロノート」「Keynote」「MetaMoji Note」は、学んだことをまとめた後、発信しようという計画の段階で使うことを説明していたが、スムーズに使いこなしていた。  
・これらのアプリは、多くの作品作りに活用することができた。



・好きな動物、海の生き物、国、料理について調べたいという意欲を示し、調べた内容を写真や文字でまとめ、動物や魚の名前や生態、料理のレシピなどを表現することができた。



・交流学級で発表するために、自分が調べたことや伝えたいことをまとめることができた。  
・3ヒントクイズ、なぞなぞ、先生クイズ、思い出記録、4年生に向かって、長崎の自慢など、多くのことをまとめ上げた。交流学級や授業参観で発表予定である。



・お気に入りの国旗を選び、国名、首都まで覚えてしまった。4年生に向かってのプレゼンの土台作りを行った。



・理科や社会、保健などで、学習したことを理解するために、自分でノートを作成した。

### ②学習やコミュニケーションのベースとなる言語力を高める。

言葉の理解力や知識を増やし、自分に自信がもてるように支援していく。

・漢字の読み書きを支えるために、「二年生の漢字」「新・筆順辞典」を活用して定着を図った。イメージが分かりやすい絵や音声情報もあり、「読む・書く・聞く」が同時に学習することができ、楽しみながら漢字に取り組んでいた。また、「新・筆順辞典」は、検索、牽引が簡単にでき、筆順アニメーション機能、筆順なぞり練習もあり、視覚的に有効であった。

・言葉のまとまりをとらえたり、言葉を理解したりするために、「SimpleMind+」では、お題を決め、思いつく言葉を文字や音声で入力し、クラスの仲間と共有し合った。「My 図鑑」では、調べたことについて、これまでにまとめていたものを自主的に読み返してまとめ直したり、さらに説明を加えたりした。「DropTalk」では、習った漢字などを使ったクイズなどで、漢字を選択し正しい熟語をつくった。「Daisy 教科書」では、国語の教科書の音読に活用したところ、読み間違いや読み落としに気付くようになり、スムーズに読むことやまとまりを考えて読むことができるようになった。

・朝や読書の時間には、「読み放題」で読んでみたい絵本を選択し、集中して聞くことができ、聞いた後に、出てきた登場人物や話の内容を振り返ったり、感想を話したりした。絵本の内容については、概ね理解しており、登場人物などの整理や場面の理解はできている。また、絵や写真などから、想像したり、表情から気持ちを読み取って言葉で表現したりすることができていた。しかし、その内容を言葉でわかりやすく伝えることが難しかったので、具体的な質問をしながら、伝えたいことを文字でまとめ一緒に確認した。毎週2冊本を借りて読むようになり、興味や関心も広がっている。また、気に入った絵本を「Keynote」に入れ込み、1年生3クラスに読み聞かせに行くことができた。

・自分の思いや考えを伝えるために、「えにっき」では、1週間で2～3回の取組が見られ、いろいろな内容を選択して書き込むことができた。「えにっき」が大好きになり、夏休みには、宿題として毎日取り組み、44日間の様子が具体的に伝わった。書く内容もバラエティーであり、以前に比べると、書く内容にも変化が見え始め、学校での活動や経験したことを選択し、思ったことや聞いていた内容から感じたことを書くことができるようになってきた。読み上げ機能は、間違いがないかの確認に利用し、間違っていたら、気付いて書き直しをしている。さらに、「えにっき」の保存、エクスポートなどの全機能をほぼ使いこなし、大きな成果を上げることができているので驚かされている。

・学習意欲を高めるために、理科や社会、道徳等の学習では、「NHK For School」を活用し、学習に役立つ情報を視聴し、事前学習、事後学習、まとめる時に大変有効であった。

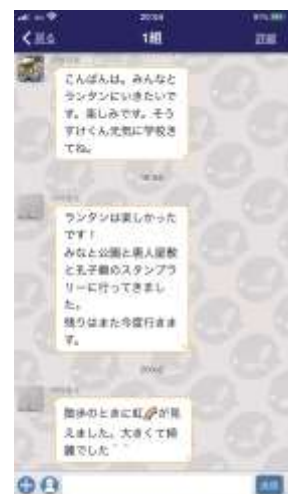
・学習の定着を図るために「Palstep」は、夏休みに入ってから使い始めたが、オリジナルの教材を作り、主に復習のために使ったところ、学習する習慣が身に付き言葉の理解も進んだ。

・「MetaMoji Note」は、授業のまとめやプリント教材などを取り込んでノートとして活用した。それを使うことで負担が減り、学習内容を理解できるようになった。

### ③コミュニケーションの機会を広げる。

いろいろな人に、伝えたいことや気持ちを表現できる場面を設定し、やり取りの楽しさを増やしていく。

・つながるツールとして、「ByTalk for School」を継続して行ってきた。今年度は、支援学級3年生5人と担任・交流学級担任・学年主任の10人で行っている。経験を生かして、初めて参加する友達に、必ず返信をしたり、スタンプで返したりと、支援



学級の中では、リーダーとして率先した書き込みをしてきている。また、わからないことを聞いたり、確認したりすることもできている。

・伝えるツールとして「えにっき」を多く活用した。その結果、紙媒体の日記に取り組み、楽しかったことや嬉しかったことを毎日書くことができるようになった。書いたことは、いつも朝から言葉で伝えるようになり、笑顔で一日が始まるようになってきた。

・言葉で伝える経験を積むために、多くの人との関わりをもつことができ、伝える楽しさを味わうことができた。交流学級（プレゼンの発表）、本校の教職員（クイズ作りのインタビュー）、司書（読み聞かせをしてもらう）、ALT（英語劇）、外部講師（お手玉の会、お花の先生、作業療法士等・それぞれの活動を指導してもらう）、1年生3クラス（読み聞かせをする）、6年生（卒業制作でバス停を修理してくれている）では、特に多くの関りがあった。

・外国語を楽しむために、「しゃべり描き」を活用した。交流学級で外国語の授業に参加できないので、手軽に話せる手段として使っている。ALTの先生から、英語劇の指導を受けて、楽しく活動することができた。3月に発表予定である。



#### ④安心して学ぶための心と体を育て、対人関係を伸ばしていく。

動きを意識することや気持ちについて考えるを通して、学びやすさや生活しやすさを支える。

・運動・動作をささえるために「キッズSworikit」を活用した。基礎的な運動能力（体力、敏捷性、柔軟性&バランス）を身につけ、モデルを見ながら楽しく運動することができた。最初は、一生懸命モデルを見ながら行っているが、自分の身体の動きがどのようになっているかが、理解できていなかったため、自分の身体の動きの変化と、モデルと自分の動きと比べて違いを気づくように、「TwinViewer」「グリッド線撮影アプリ Professional」「LINE Camera」等で、グリッド線を入れた写真を見せた。グリッド線を入れると、視覚的に自分の体の動きを理解することができた。



モデルと比べる



ビフォーアフター



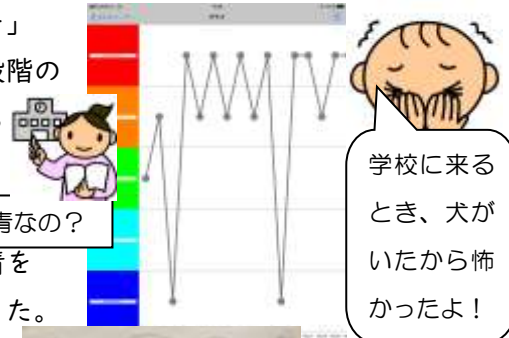
自分を重ねる



モデルと重ねる

・感情の表現や理解を支えるために、学校や家庭で「気持ちメーター」を使い、決まった時間や感情が動いたときにつけようと決めた。5段階の気持ちを選び、その色の気持ちの理由を話して、やり取りをしながら言葉で伝える方法を学ぶことができた。

・「DropTalk」では、顔文字、絵文字、人間の表情などの視覚情報と感情を表す言葉をマッチングする学習を行うことで、表情を読み取ったり、気持ちを言葉で伝えたりすることができるようになった。



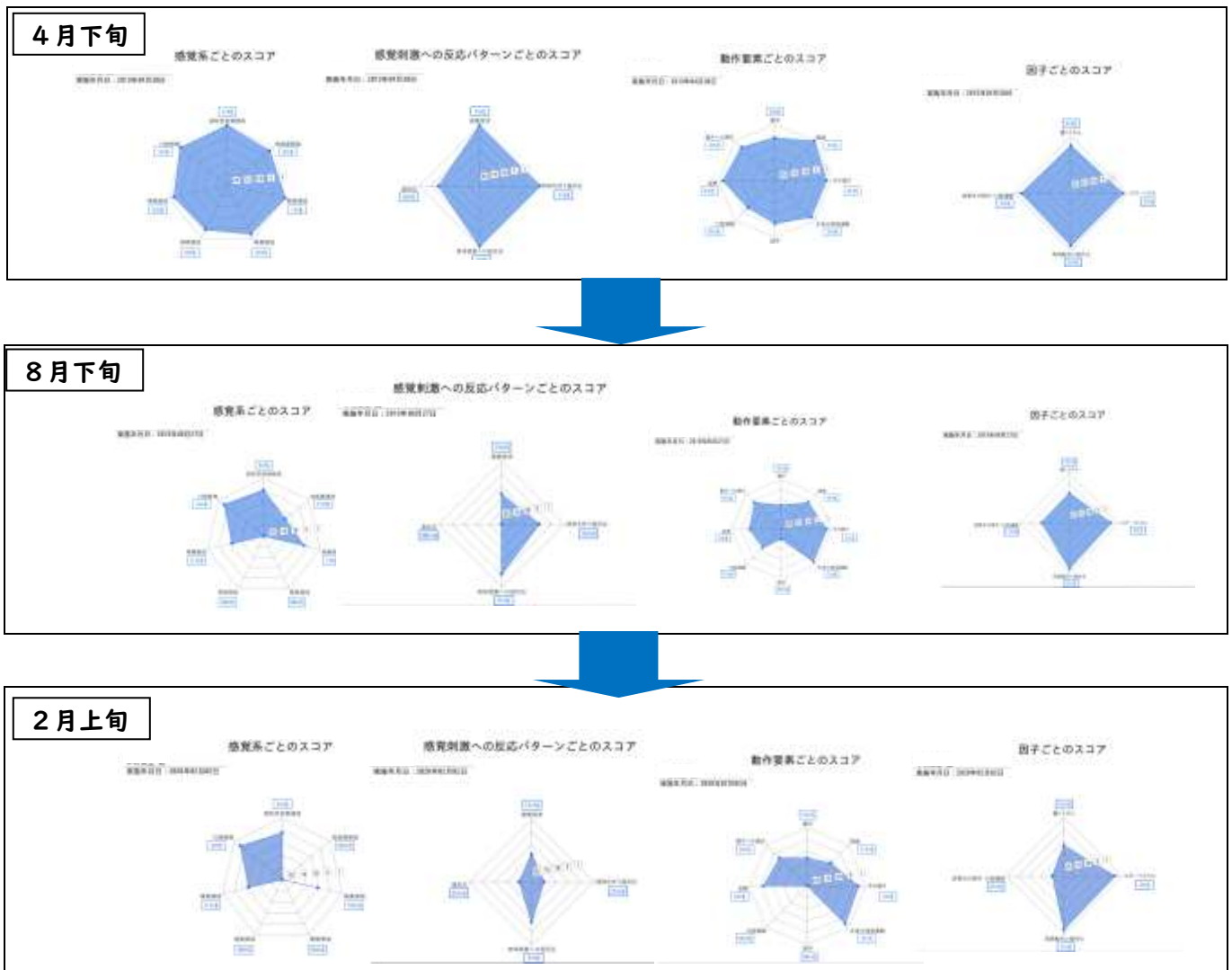
どうして青なの？



## 【 その他 】

・長崎大学大学院医歯学総合研究科との連携によるCO-O-Pの運動プログラムの取組をおこなった。  
・ねらいは、課題指向型アプローチの1つであるCO-O-Pを運動の苦手な子どもに実施し、その感覚運動の能力、自己有能感が向上するかを検証していくことである。活動の内容は、JPAN及びCOPMの評価を実施(実施前の運動能力・自己有能感の評価)、CO-O-Pの運動プログラムの実施で、週1回60分の運動プログラムを10回実施(うまくなりたい運動に焦点化)した。その後、JPAN及びCOPMの評価を実施(実施後の運動技能・自己有能感の変化の評価)した。活動は、「バス停を漢字で書く」「サッカーが上手になる」「折り紙ができるようになる」という目標を決め、「自分でできる作戦を立ててできるようになること」に挑戦した。結果、感覚処理・行為機能検査プロフィールでは、7月に比べて、12月は、行為機能が少し向上していた。

・「感覚&動作」アセスメントシートの実施(4月と8月と2月の3回)



・結果より、「感覚系」「動作系」のどちらも、実践をしてきたことで、4月に実践した時よりも、感覚や動作の偏りが減少して、偏りが減り、標準の範囲内の項目もあった。しかし、偏りがあまり改善されていない項目も多いので、体の動きや調整力を向上させるような支援を行いながら、学習を進める必要がある。

### 【報告者の気づきとエビデンス】

気づき① 好きなことや興味のあることを生かしたことで、代替手段が定着し、学習に広がりが出たのではないかと。

好きなことに対して集中して取り組むという良さを生かしながら活動することができた。ほとんど自力でiPadの操作(入力・漢字変換・写真や図の挿入・アニメーション等)ができるようになり、まとめ、伝えることの喜びを感じていた。それが、国



語の学習、理科や社会のまとめ、外国語の劇づくり等へ繋がり、積極的な取組が見られるようになってきた。この姿から、自己肯定感、自己有用感が高まったと考えられる。

「My 図鑑」では、動物や海の生き物、レシピに取り組んだが、調べたことをクイズ・なぞなぞにし、発信を始めた。また、国旗、国名・首都を覚えたり、世界地図を調べたりするなどにも、興味をもち始めた。調べまとめたことが日常会話の中で出てくると、調べたことを積極的に伝えようと、クラスの友達とたくさん話をする姿が毎日のように見られた。友達から「よく知ってるね!」と褒められていた。



**気づき② 言葉の理解力や知識を増やしたことで、表現に広がりや積極性が出たのではないか。**

「My 図鑑」でまとめたお気に入りの動物が出てくる本や図鑑を借りるようになり、「読み放題」でも動物が出る絵本を選び楽しんで聞くことができた。感想もこれまでは楽しかったとか、面白かったということばかりだったが、特定の登場人物や気に入った行動を話すなど、言葉の広がりを感じた。また、行動を振り返るときに、理由を答える際、「1つ目は…、2つ目は…」などとはっきりと答える事ができて驚かされた。また、日記の内容にも変化が見られ漢字や片仮名等を必ず使って書くことができるようになった。

自分の好きな本を選び、自分の思いをつぶやきながら、楽しそうに読むことができた。「えにっき」に、読んだ動物の本から学んだことについて、習った漢字やカタカナ等を使いながら、気持ちや思い、わかったことを表現し、伝えたいという気持ちが高まっていた。



**気づき③ 伝えたいことや気持ちが表現できる場面を設定することで、やり取りの楽しさが増えたのではないか。**

司書の先生が読み聞かせをしてくれた本を気に入り、1年生3クラスに読み聞かせたいということになり読み聞かせの時間をとってもらい「keynote」に画像を取り込み実践した。本児は会話のところを読んだが、表情豊かに読むことができ、1年生からとても褒められ認められ大変満足そうであった。

ペアを組んでの読み聞かせは、役割分担をしたところを、何度も練習して、お互いに認め合っていた。読み聞かせが終わった後、1年生の感想では、「読み方が上手過ぎてすごい!」「動物の感じがよく出ていて楽しかった。」「また、読んでほしい。」等があげられ、素直に「ありがとう!」と伝えることができた。二人とも、とっても嬉しそうな表情をしていた。



**気づき④ 視覚的に動きを見せることで、自分の体をうまく動かすことができるようになったのではないか。**

これまで運動やトレーニングに対して、自分はできないと諦めることが多く、直ぐにやる気を失っていたが、視覚的な支援を行ったことで、休み時間や家でも、進んでプレオリンピックや「キッズ Sworkit」の練習を行い、運動を楽しむことができるようになってきた。その結果、「感覚&動作」のアセスメントシートにも明らかかな変化が見られた。

昨年の秋からプレオリンピックの練習を始めたが、練習から試合まで、苦手なことへも楽しんで参加している。成功すると跳び上がって「やったー!」と言いながら、喜ぶ姿が印象的であった。目を閉じて片足で立つフラミンゴにチャレンジした。最初は5秒だったのが、20秒静止できるようになった。



その他ミニエピソード・1年生が困っている時に、優しく手を差し伸べたり、一緒に活動したりすることができ始めた。自分より年下に対して、初めて自分から関わろうとする素敵な姿に感動した。

